



陸自広報センターで広報活動を実施

埼玉地方協力本部朝霞地域事務所（所長 澤谷3陸佐）は、十一月七日、陸上自衛隊広報センター「りっくんランド」で行われた高機動車への体験試乗に、ブース出展により参加した。

当日は秋晴れの快晴に恵まれ、公募により選ばれた家族等が訪れた。今回は、限定された方々の参加であり、家族連れが多く適齢者はさほど多くなかったが、自衛隊や陸上装備品等に興味を持って遠方から参加された方も見受けられた。

埼玉地本のブース内では、来訪者への自衛隊の魅力発信と知人等を含む適齢者への橋渡し等に繋がるように丁寧な案内・質疑応答に心掛け、各種受験資格等の説明やパンフレット配布を行った。

埼玉地本は、今後もあらゆる場面を募集活動の好機と捉え、積極的な働きかけや企画等の創造と実行により、募集基盤の強化等への努力を継続していく。



合同企業説明会で予備自衛官等制度を紹介

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 山下真司一等空佐）は、令和三年十一月十六日（火）、東京流通センター（東京都大田区）で開催された「令和三年度首都圏任期制隊員合同企業説明会」において、同説明会に参加した現役任期制隊員に対し、予備自衛官等制度を紹介した。

合同企業説明会には、任期満了で自衛官を退職し、民間企業に再就職する隊員及び退職自衛官の雇用を希望する企業約二百社が参加していた。

埼玉地本は、先述した隊員に予備自衛官等制度について理解を深めてもらうために同会場に説明ブースを設置した。

今回は、令和四年三月から同年九月までの間に任期満了を迎える隊員に対し、予備自衛官制度、招集訓練の概要及び埼玉地本に所属する予備自衛官等が従事した令和元年台風第十九号等の災害派遣活動の写真を使用して説明した。

また合わせて採用後の処遇及び雇用企業に対する給付金に関し、懇切丁寧に説明したところ、任期制隊員は熱心に聞き、活発に質問をしていた。

質問をした任期制隊員の一人は、「予備自衛官に採用された初年度は一日間招集訓練に出頭し、新しい生活環境に慣れ、勤務先の同意を得て、次年度以降は即応予備自衛官に是非志願したい」と感想を述べた。

埼玉地本では、方面総監部から示された予備自衛官の充足目標及び即応予備自衛官の新規採用目標を達成するため、今後も予備自衛官等の多くの志願者確保に向け、あらゆる機会を通じて、予備自衛官等の募集活動をしていく所存です。

